

新編集委員のご紹介

新しく『心理学ワールド』の編集委員となった7名の方に、自己紹介や抱負を述べていただきました。



漆原宏次 (うるしはら こうじ)
北海道医療大学

古典的条件づけなどの連合学習と学習理論が専門で、最近ではアニマルセラピーも手がけています。『心理学ワールド』の編集を通じて、心理学という学問の幅広さを読者の方楽しんでいただきながら、自分の研究の幅も広げられるよう頑張ります。



河原純一郎 (かわはら じゅんいちろう)
北海道大学

注意制御能力に及ぼす記憶、疲労やストレスの影響などを調べています。この他、顔やものの魅力研究に挑み、自分を磨き中です。心理学研究の世界はキラキラと輝く楽しいことばかりです。『心理学ワールド』でこの感動を共有したい！



旦直子 (だん なおこ)
帝京科学大学

発達心理学、特に乳幼児の認知発達が専門です。日頃、幼稚園や保育所の先生方と接する機会が多く、現場で役立つ心理学について考えさせられる毎日です。これを機に、私自身も視野を広げ、面白くて役に立つ紙面作りに協力できれば幸いです。



川口潤 (かわぐち じゅん)
名古屋大学

記憶と意識、特に「思い出」であるエピソード記憶の想起やノスタルジア、記憶の抑制について研究を進めています。さまざまな領域の心理学のおもしろさを伝えてきた『心理学ワールド』のさらなる発展に貢献できればと思っています。



大久保街亜 (おおくぼ まちあ)
専修大学

日常認知と左右差を研究しています。交渉時の顔の向き、映画館での座席選びなど日常にある左右差が研究対象です。私はこれまで楽しく『心理学ワールド』を読んできました。自分が感じた楽しさを皆さまに伝えるお手伝いをできればと考えています。



下津咲絵 (しもつ さきえ)
京都女子大学

臨床心理学、認知行動療法が専門です。精神疾患患者さんが持つセルフスティグマの低減手法について研究しています。読者の皆さんも、また自分自身も楽しむことができるような『心理学ワールド』作りに貢献していきたいです。



手塚洋介 (てづか ようすけ)
大阪体育大学

専門は感情心理学です。感情と心臓血管系との心身相関やスポーツにまつわる感情の諸現象のほか、感情の研究法に関心があります。これまでの研究者生活で見聞き感じたものを、少しでも『心理学ワールド』の企画に活かしていければと思います。

編集後記

「東日本大震災から一年」特集(57号)で飛田操先生(福島大)が「正確な情報伝達」「ストレスへの対処」「異質性の顕在化」の問題を提起されています。この三つの問いかけに対してわれわれ心理学者は何かできたのかを振り返り、そして何ができるのかを問うために本特集を組みました。飛田先生にお礼申し上げます。今回の特集のために私たちもそれぞれ被災地に足を運びました。食べ物が美味しかった！ (小森政嗣・樋口匡貴)

編集委員 (五十音順)

編集委員長
副委員長
委員

川口潤 名古屋大学
大久保街亜 専修大学
岩壁茂 お茶の水女子大学
漆原宏次 北海道医療大学
柏崎秀子 実践女子大学
河原純一郎 北海道大学
小森政嗣 大阪電気通信大学
下津咲絵 京都女子大学
旦直子 帝京科学大学
手塚洋介 大阪体育大学
樋口匡貴 上智大学
脇田真清 京都大学霊長類研究所
宮谷真人 広島大学

担当常務理事

心理学ワールド [72号] 2016年1月15日発行

年4回発行(1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—長谷川壽一

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—新日本印刷

制作—(株)新曜社